



会見する呼びかけ人の(左から)藤合秀・県立大教授、横田力・都留文科大教授、寺崎弘昭・山梨大教授、竹内智・山梨大教授＝県庁

安保法案に反対 大学人の会発足

賛同者130人

安全保障関連法案に反対の意思を示すため、県内の大学の教員らが28日、会を発足させた。「法案を廃案にする」という一点を共通の主張とする会への賛同者は130人に上り、呼びかけ人は「今後も、多くの大学人が反対していることをアピールしていきたい」という。

発足したのは「安全保障関連法案に反対する山梨学者・大学人の会」。「安全保障関連法案に反対する

「若者たちが武力の犠牲 あってはならない」

学者の会」の地方組織で、大学の枠を超えた県単位の組織としては6例目という。

山梨大、都留文科大、県立大など5大学の教授7人が19日に呼びかけを始め、28日までに専任教員や非常勤講師、大学OBなど130人が賛同した。山梨大からは全4学部の教授ら約60人が賛同するなど、専門分野も多岐にわたる。

発足にあたり、呼びかけ人が会見し、「大学で学んだ若者たちが紛争解決に武力を行使し、また武力の犠牲になることは絶対にあってはならない」とする声明を発表。呼びかけ人のひとり、山梨大の寺崎弘昭教授(教育学)は「学問とは、人間の幸福を考える真理探究。その幸福が脅かされている危機感を持っている」と話した。

賛同者からは「武力に頼

らず世界の平和に貢献することで、国際社会で尊敬を集める国を目指すべきだ」「国会で誠実な答弁ができないような法案を通してはいけない」などの意見が寄せられているという。

会は安保関連法案の廃案を目指し、賛同者を引き続き募る。登録はインターネット(<http://www.nasshidai-union.sakura.n.e.jp/gakusyanokai.hp>)から。